

佐賀県唐津市沖における洋上風力発電所開発の検討開始
 ～最大約68万kW、計画段階環境配慮書を提出～

2022年3月30日
 関西電力株式会社

当社は本日、環境影響評価法に基づき、計画段階環境配慮書等^{*}を経済産業大臣へ提出し、佐賀県知事、長崎県知事および福岡県知事へ意見を求めました。

配慮書等は、本年4月1日から5月6日まで、関係行政機関および当社ホームページで公表します。

当社は今後、地域の皆さまや関係行政機関からのご意見を賜り、本開発に関する検討を進めてまいります。

当社グループは、2040年までに国内で新規開発500万kW、累計開発900万kW規模を目標に再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組み、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

^{*}環境の保全について適正な配慮をするべき事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。
 「(仮称)佐賀県唐津市沖における洋上風力発電事業計画段階環境配慮書」と、それを要約した書類。

以上

<佐賀県唐津市沖洋上風力発電所の開発計画（概要）>

事業者	関西電力株式会社
場所	佐賀県唐津市沖
設備規模 (発電出力)	最大 676,200 kW (9,500～14,700 kW級風力発電設備 最大63基程度)
今後の流れ (想定)	配慮書(今回) → 方法書 → 環境調査 → 準備書 → 評価書 [*] 環境影響評価に要する期間は4年半程度を見込んでいる。

<位置図>



左図は国土地理院で公開されている
 地理院タイルを使用